



専門研修 防災・減災コース開催 「ジブンゴト化」「まずは自助」をテーマに

5月25日・26日、専門研修「防災・減災コース」を開催し、9市町公衛協から16人が参加しました。

今回は、日本赤十字社広島支部と連携して研修を実施しました。テーマは、災害を「ジブンゴト」にすること、「自助」により自身や身近な人を守ることにしました。

研修は、公衛協の5つの役割を振り返った後、日本赤十字社が提供している複数のプログラムを体験しました。

救命救急法とAEDの研修では、人形を使う心肺蘇生法とAEDの装着などの訓練を行いました。

かなり実践的な内容で、通報から救急車が到着するまでの平均時間の約9分間、参加者が交代しながら心肺蘇生を継続し、AEDの装着をするなどの連の流れを体験。約2分間心肺蘇生をすると疲労がたまなり、正しく心臓を押せなくなるので、多くの人が心肺蘇生をできるようになり、交代しながら命を守ることが大切であると学びました。

災害の追体験をする「エスノグラフィー」では、被災者の経験談を読み物にまとめた資料を使い、重要だと思ったことや初めて知ったことなどを付箋紙に記し、班に分かれて意見交換をしました。

防災セミナーでは、KAGというゲームを体験しました。自分や家族が怪我をせず避難するために、家の中の家具の設置場所を見直すことや落下転倒防止措置が重要であることが大変よくわかりました。「家具が倒れても扉が開けられるように、レイアウトを見直す」「寝室に靴を置いておく」などは、すぐにでもできる効果的な取り組みです。



心肺蘇生法についてレクチャーを受け、人形で実践(上)、エスノグラフィーを体験し、感想を述べあう参加者(下)

ここで起こるかわかりません。ぜひ、皆さまの地域で開催される防災研修や訓練に参加し、災害を「ジブンゴト化」して、「自助」の大切さを広めていきたいと思います。

(地域活動支援センター)

「赤十字サポーター」に認定 認定証の贈呈式を開催

環
保
協

当協会は、日本赤十字社の使命「わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。」に賛同し、社会貢献のための赤十字の活動を支える団体として、令和5年4月1日に赤十字サポーターに認定されました。それに伴い、日本赤十字社広島県支部の坂井事務局長から当協会佐藤理事長に赤十字サポーター認定証が贈呈され、これからは献血事業をはじめとした幅広い分野で協力して事業に取り組むことを確認しました。



日本赤十字社坂井様(右)より当協会理事長(左)に認定証が贈呈された

プラットフォームかんぽきょう(以下「PFK」)というネットワークを構築し、「個と個・個と組織・組織と組織」を繋ぐほか、「コミュニケーションが可能な仕組み」を兼ね備えたプラットフォームになるよう、ネットワークを構築します。

日本赤十字社広島県支部との事業協力は、PFKでも強力なパートナーとなります。共に「いのちを守る」ことを理念として掲げる組織が連携することで、地域からの多様なニーズにこたえ、理念の達成を目指してまいります。

(地域活動支援センター)

当協会の第2次経営ビジョンにおいて、地域活動支援センターでは「元気で活発な地域コミュニティが県内の各所にできるよう、時代に沿った、コミュニティの環境保健に係る組織的実践活動の支援を行う。」ことを事業方針としています。その実現に向けて「プラ

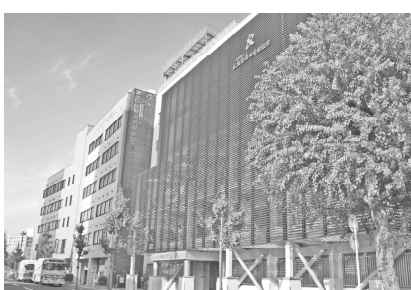
さんせんか 琴線歌

兵庫県姫路市で生まれ育った私は、子どもの頃は春には流加式塩田の間を抜けて潮干狩り、夏は須磨や淡路島で水遊びをしたりして、頻りに瀬戸内海と接していました。しかし、小学校高学年の頃から水質汚染、赤潮が頻発したこともあり、瀬戸内海からしばらく遠ざかっていた。そんな私は2014年に兵庫県水大気課長を拝命し、再び瀬戸内海と関わりを持つことになりました。▼高度経済成長期には「瀬死の海」とまで呼ばれた瀬戸内海は、瀬戸内海環境保全特別措置法(瀬戸法)などの水質規制が進められ、水質は大きく改善しましたが、魚獲量の減少、藻場干潟の大幅な減少、海ごみの問題など新たな課題が出てきました。このため、2015年に瀬戸法が改正され、良好な水質の保全と生物の多様性や生

瀬戸内海と私

くに瀬流島、その奥に響灘(ここまでが瀬戸内海の範囲)が見える火の山公園(山口県下関市)からの絶景や厳島神社の鳥居を真下から見た時の驚き、感動から、瀬戸内海の「風景」にすっかり魅了されてしまいました。▼皆さんもデイスカパー瀬戸内海を始められてはいかがでしょう。きつと素晴らしい体験ができます。

(公益社団法人瀬戸内海環境保全協会 常務理事 春名 克彦)



一般財団法人 ~みんなの生命をまもりつづけたい~
広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)
TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

基本理念

みんなの生命(いのち)をまもりつづけたい。
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。

かんぽきょう 検索

